

実用英語 I (Practical English I)	3～5年・通年・1単位・選択 全学科・担当 金澤 直志	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)		
<p>〔教育方法等〕</p> <p>概要： 技能審査の成果の単位認定については、教育課程編成の多様化・弾力化の一つの方策として、平成 5 年 3 月の学校教育法施行規則の改正により制度化された。この制度の円滑な実施を図るために、選択教科・科目の幅を拡大して、多様で弾力的な教育課程を編成している。学校外での学修を 30 単位を超えない範囲で当該高専での授業科目の修得とみなし、単位の修得を認定することが可能となった。そして実用英語技能検定試験（実用英検）などについて、自主的判断に基づき単位が認められることになった。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 「高等専門学校が単位の修得を認定できる学修を定める件（告示）」でいう、技能審査の認定に関する規則による文部科学大臣の認定を受けていない TOEIC については、受講者の取り組み状況（学習内容及び学習時間等）を示すレポート等の提出をもって、それぞれ、以下のスコアを目安とする学修に対する評価を別途行うことにより、単位認定するものとする。</p> <p>注意点： 関連科目 英語Ⅲ，英文読解Ⅱ 学習指針 英語資格試験の問題を通して、抜け落ちている基礎的な英語文法力や英単語力を補強していく。 自己学習 学ぶ習慣を身につけてほしい。英語を利用しなければ、忘れることの方が多い。そのため、家庭での日々の英語学習に重点が置かれることになる。</p>		
<p>〔教科書〕 特に指定は無い</p> <p>〔補助教材・参考書〕 Newton TLT A コース(Web 教材)，やり直しの英語(Web 教材)</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語検定試験準 2 級合格，もしくは，TOEIC で 400 点以上を取得すること 		
<p>〔評価割合〕 上記，到達目標を達成し，申請することで単位認定される。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週			
	2 週	単位認定に関して 申請方法： 例年 1 月初旬に申込期間を設定している。 学生には掲示板にて公示されるので、1 月に入って掲示板を確認すること。 必ず、成績の証明が必要なので、その年度に取得した TOEIC スコアや英語検定により認定された証明のコピーを申込用紙に添えて学生課教務係に提出すること。		
	3 週			
	4 週			
	5 週			
	6 週			
	7 週			
	8 週			
	9 週			
	10 週			
	11 週			
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			
	16 週			
後期	1 週			
	2 週			
	3 週			
	4 週			
	5 週			
	6 週			
	7 週			
	8 週			
	9 週			
	10 週			
	11 週			
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			
	16 週			

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった.